

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	共同印刷株式会社	事業所名	ビジネスメディア事業部製造本部 川島工場		
取組措置		具体的取組措置	H30	H31	H32
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	ISO14001認証と環境方針を確認	○	○	○
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認	エネルギー原単位の前年実績を基にした改善計画を提出させている。	○	○	○
02	モーダルシフトの推進 ()	大型物件をJRコンテナ輸送に変更を行っている。	○	○	○
03	物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ()	軽油使用量によるエネルギー原単位表(CO2排出量含)を提出をさせている。	○	○	○
04	積載率の向上 (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	製品の荷姿、荷重、形状等を事前に把握し、車種選定を行っている。	○	○	○
05	混載便の利用又は共同輸配送の実施 (01) 混載便利用の取組	配送地域ごとに多品種製品を混載させる計画を事前に行っている。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	天然ガス2t車2台を使用中	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	エネルギー原単位の把握により活動状況の確認を行っている。	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	環境保全活動カードをドライバーへ配布している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	納品前日の一定時間までの発注とし、予定を立てて配送させている。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	少量輸送の場合は、ヤマト運輸や近鉄などの路線便に切替えてトラックの手配台数を削減している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	納期も考慮して、朝の混雑する時間帯を避けるため、出荷時間を早めることも必要に応じて行なっている。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (04) 輸送トラックの待ち時間の削減	納品、引取りの計画を立てスケジュールを管理している。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

08 物流の効率化 (01) サードパーティーロジスティクスの活用	製品輸送、製品保管等のロジスティクス部門をグループ会社へ委託	○	○	○
09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	定例会議を実施して、課題や問題点等の情報を共有して、物流の効率化に取り組んでいる。	○	○	○
10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ()	工場内に専用の荷捌き場と車への積載場所を設けて工場外の駐車を無くしている。	○	○	○
11 その他の必要な取組 (01)	「エコドライブ10のすすめ」を物流事務所内に掲示して、ドライバーへの周知を図っている。	○	○	○

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	共同印刷株式会社	事業所名	ビジネスメディア事業部製造本部 川島工場			
取組措置		具体的取組措置		H30	H31	H32
06 エコ通勤の推進 (01) 自家用自動車の通勤手当及び許可基準等通勤制度の見直し		都度、通勤手当の見直しを行っている。		○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	共同印刷株式会社	事業所名	ビジネスメディア事業部製造本部 鶴ヶ島工場			
取組措置		具体的取組措置		H30	H31	H32

自動車地球温暖化対策実施方針

01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	ISO14001認証と環境方針を確認	○	○	○
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認	エネルギー原単位の前年実績を基にした改善計画を提出させている。	○	○	○
02 モーダルシフトの推進 ()	大型物件をJRコンテナ輸送に変更を行っている。	○	○	○
03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ()	軽油使用量によるエネルギー原単位表(CO2排出量含)を提出をさせている。	○	○	○
04 積載率の向上 (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	製品の荷姿、荷重、形状等を事前に把握し、車種選定を行っている。	○	○	○
05 混載便の利用又は共同輸配送の実施 (01) 混載便利用の取組	配送地域ごとに多品種製品を混載させる計画を事前に行っている。	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	天然ガス2t車2台を使用中	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 （02） 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	エネルギー単位の把握により活動状況の確認を行っている。	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 （03） 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	環境保全活動カードをドライバーへ配布している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 （01） 発注時間及び配送時間のルール化	納品前日の一定時間までの発注とし、予定を立てて配送させている。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 （02） 多頻度少量輸送の見直し	少量輸送の場合は、ヤマト運輸や近鉄などの路線便に切替えてトラックの手配台数を削減している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 （03） 道路混雑時の輸配送の見直し	納期も考慮して、朝の混雑する時間帯を避けるため、出荷時間を早めることも必要に応じて行なっている。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 （04） 輸送トラックの待ち時間の削減	納品、引取りの計画を立てスケジュールを管理している。	○	○	○
08 物流の効率化 （01） サードパーティーロジスティクスの活用	製品輸送、製品保管等のロジスティクス部門をグループ会社へ委託	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	定例会議を実施して、課題や問題点等の情報を共有して、物流の効率化に取り組んでいる。	○	○	○
10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ()	工場内に専用の荷捌き場と車への積載場所を設けて工場外の駐車を無くしている。	○	○	○
11 その他の必要な取組 (01)	「エコドライブ10のすすめ」を物流事務所内に掲示して、ドライバーへの周知を図っている。	○	○	○

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	共同印刷株式会社	事業所名	ビジネスメディア事業部製造本部 鶴ヶ島工場				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
02 公共交通機関への転換の推進 (02) 送迎バス等の運行		富士見工業団地工業会が運行する無料のCNGバスの利用			○	○	○
06 エコ通勤の推進 (01) 自家用自動車の通勤手当及び許可基準等通勤制度の見直し		都度、通勤手当の見直しを行っている。			○	○	○